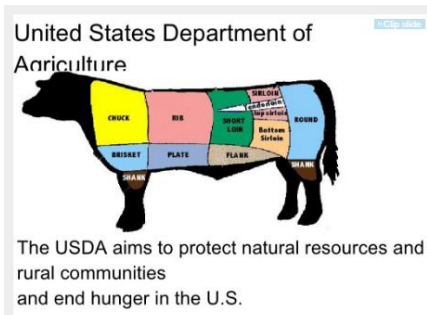


農務省- Department of Agriculture (USDA) のデジタルガバナメント戦略



農務省の戦略目標は米国の自然資源と地方コミュニティを保護し、飢餓をなくすことである。図 1

この目標をデジタルガバナメントで実現する。

その戦略と行動計画を連邦政府 2012 年の [Digital Government Strategy \(DGS\)](#) 大統領令に従い、農務省のデジタルガバナメント戦略を作成し、さらに農務省のウェブサイトのデジタルコンテンツを評価し、

図 1 農務省の戦略目標

国民に高度なレベルのデジタルコンテンツを提供でき

る[ウェブサイト](#)に改善している。

USDAの行動計画では、大統領令の行動計画のUSDA担当項目を2年で完了する(2012-2014)計画で実施し、その他の項目は連邦政府全体を横断して実施する。

予算は、行政管理予算局([OMB](#))、調達局は連邦調達局([GSA](#))、標準は標準技術研究所([NIST](#))、[Advisory Group](#) が担当している。

A.情報中心(第一原則)

●オープンデータ、コンテンツ、および Web API を新しい基盤とする

2014年8月30日完了目標で現在進行中。

USDAは [OneUSDA](#) (USDAデジタルガバナメント戦略)を作成・導入し、制度化している。CIO局 (Chief Information Officer Technology, Planning, Architecture, and Electronic Government (TPA&E)) は次の分野のオープンデータとその要求事項(互換性など)を確認する。

- 1) デジタルが[DGS](#)とUSDAの戦略の整合性を要求する [Acquisition Approval Request \(AAR\)](#)
- 2) 予算案の検討
- 3) デジタル政府戦略の要素を評価 [IT Governance Process life cycle reviews](#)
- 4) [DGS](#)の戦略原則の導入体 [Enterprise Roadmap](#)

●オープンデータ目録作成・日程計画 [Enterprise Data Inventory](#) (EDI)

この目録は2014年11月30日にOMBに提出する。この目録を以下に示す。

オープンデータ評議員会: Open Data Council (ODC)設置、

オープンデータ・ワーキンググループ: Open Data Working Group (ODWG)設置、

[オープンデータ戦略政策](#)作成、

オープンデータ通信計画 [Open Data Communications Plan](#) (PDF, 206 KB)作成、

オープンデータ・マスタープラン作成、

[USDA.gov/data page](#) 作成、

[Open Data Blog](#) 作成、

[USDA Digital Strategy](#) の更新

● オープンデータ日程計画

マイルストーン 1: 2014 年 2 月 28 日までに、まず [Enterprise Data Inventory \(EDI\)](#)を進める。

マイルストーン 2: 2014 年 5 月 31 日までに、EDI とパブリックデータセットを充実させる。

マイルストーン 3: 2014 年 8 月 30 日までに、EDI の展開、拡張し、オープンにする。

カスタマーからのフィードバックは、計画 [Customer Engagement and Feedback Plan](#)、[Blog](#)、Hackathons 参加(2016 年には [Earth Day Hackathon](#) を後援する)、[Issue Tracker](#) を使って [USDA GitHub](#) 設置し、さらに、[Twitter](#)、[Google+](#)、[Facebook](#)、[Storify](#) の情報の利用を奨励している。

マイルストーン 4: 2014 年 11 月 1 日までに、情報の品質保証を実行し、完全な EDI を OMB に提出する。

● USDA データセット公開プロセス

USDA の信頼度の高いデータセットの公開は図 2 に示すように 4 つのステップで行われている。

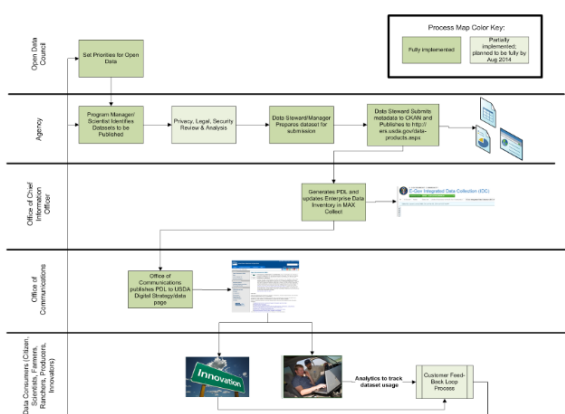


Figure 2: USDA Dataset Publication Process

(1) 既存の価値の高い品質のデータとコンテンツを Web API を通じて利用可能にする。

全省庁は共通のオープン標準を使わなければならない。この標準はモバイルのウェブサイトにも適用する。

(2) Web API を介して利用可能にする価値の高いデータとコンテンツを決めるために国民と協働する。2012 年 8 月 23 日に完了

(3) 顧客参加アプローチ

社内外の顧客と関わるために、私たちは統合コミュニケーションプラットフォーム: [USDA.gov/open](#)、[#AskUSDA](#)、[USDA Blog](#) を使用して、さまざまな情報を提供し、顧客が参加する機会を提供する。

(4) システム(データセット)のリストの作成

[National Farmers Market Directory](#)、[ERS Web Content and Charts of Note](#) は

2012 年 8 月 23 日に完了。

● Web [API](#) を介して少なくとも 2 つの既存の主要な [顧客対応システム](#) で高価値のデータとコンテンツを公開する。

USDA の新しい情報資源とツールは [Developer Resources](#) を見て下さい。何か提案や質問があれば、[USDA GitHub repository's Issue Tracker](#) を使ってください。

B. 共有プラットフォーム(Shared Platform)アプローチ(第二原則)

● [Digital Services Innovation Center](#) と [Advisory Group](#) を設立する

これは連邦政府の全機関横断のプロジェクトなので OMB、GSA が担当する。

● デジタルサービスの提供を改善するための [省内ガバナンス](#) の確立

(1) [Advisory Group](#) の設立

USDA のデジタル戦略 [ガバナンス](#) を確立する

2012 年 11 月 23 日に完了した。

USDA はデジタルガバナメント戦略を実施するための組織と体制を確立した。

[Departmental Regulation 1496-001 \(11/21/12\) Digital Strategy Governance](#).

(2) 連邦政府全体の資産管理および調達モデルへの移行

モバイル機器およびワイヤレスサービス契約の USDA インベントリを確立する

2012 年 11 月 23 日に各局とも作業を完了した。

(3) USDA の [新しいモバイル調達](#) ツールの評価

2014 年 8 月 30 日完了目標で現在進行中である。

C. 顧客中心 (第三原則)

● 最新の情報ツールと技術を使った、より良いデジタルサービスの提供

すべての新しいデジタルサービスが [改善指針](#) に沿っていることを確認する。

6 ヶ月以内に [改善指針](#) を発表する。また USDA は [OneUSDA Digital Strategy](#) を開発、導入、制度化している。

また [Integrated Governance Framework](#) が使える [USDA FITARA Common Baseline Implementation Plan](#) を開発した。

[情報技術投資評価会議](#) (E-Board) と [コミュニケーション局](#) で [IT 投資](#) の正当性を確認している。

USDA はこの新しいモバイルプログラムに完全にシフトしている。[モバイル導入計画](#) はモバイルビジネスの変革の機会と絡んでいる。導入はモバイルコンピューティング運営委員会を通して行われる。2013 年度の USDA の重要な目的は何時でも、何処でも、どの種のモバイルでも、モバイル顧客のアクセスに対応できる機能を確立することである。そのために、鍵となる以下の事項を確立する。

・ [モバイルプログラム管理局](#) を設立する。

・ [モバイルコンピューティング運営委員会](#) を設立する。

・ [モバイルコンピューティングプロジェクトサイト](#) を設置する。

・ [モバイルコンピューティング政策](#) と [Mobile Computing policy](#) と [BYOD 政策](#) を発表する。

・ 第二世代モバイル、モバイル調達管理、BYOD パイロットプロジェクトを含む、モバイルインフラを配置する。

・ [マニュアル](#) を発表する。このマニュアルにはアプリの管理、開発プロセス、標準、市場などの項目がある。

● モバイルで顧客向け最優先サービスの改善

モバイルを使って顧客と顧客向け最優先サービス改善

2012 年 8 月 23 日完了

●顧客エンゲージメントアプローチ

省の内外の顧客との対話をするために、[統合プラットフォーム](#)を使う。USDAのデジタル戦略導入は [USDA.gov/open](#)、[#AskUSDA](#) のような[ソーシャルメディア](#)、[USDA Blog](#) を通して新しい機会を創る。

●サービスの優先順位付けされたリスト

2012年8月23日完了

そのリストは [USDA Newsroom](#)、[AmberWaves eZine](#)、[Meat and Poultry Inspection Directory](#)、[Office Information Profile System](#)、[USDA Service Center Locator](#) である。

●優先順位を最適化するモバイル向けの顧客向けサービス

2013年5月23日完了

(1) デジタルサービスを改善するために稼動状況と顧客満足度を測定

[Innovation Center](#)

[.gov Websites](#) でのパフォーマンスと顧客満足度測定ツールの実装

2013年1月23日完了



図3 貴方の健康情報

2012年3月に、USDAは [Google Analytics](#) を導入し、2013年6月5日までに、[Digital Analytics Program code](#) を実装する。

2013年4月にモバイルウェブサイトを開始して以来、Googleではモバイルコンテンツを強化するために分析を評価しています。

食料に関する情報 [Ask Karen](#)、[地域の食料の安全性](#)、[農家、牧場主のモバイルサービス](#)、[サービスセンター情報](#)、[モバイルアプリ](#)、[土、水、空気、えねるぎー](#)、[その他天然資源](#)、[食べ物](#)、[フィットネス](#)、[健康](#)、[土地調査](#)などがモバイルでアクセス出来る。

[comment on our blog](#) と [GitHub Issue Tracker](#) にアイデア、コメントを下さい。

D.セキュリティ・プライバシー (Security and Privacy) プラットフォーム(第四原則)

●新情報技術の安全で、確実な導入プロセスの推進：[DHS/DOD/NIST](#)

●セキュリティとプライバシーのプロセス評価と合理化：

[NIST](#)：モバイル、技術、機器・プラットフォーム標準

[Advisory Group](#)：政府全体の安全性確保

[NIST/NARA](#)：デジタル・プライバシーガイドライン作成、教育